

## 徳島県の温室効果ガス排出量（2020年度）の算定結果について

### 1. 温室効果ガス排出量の算定結果について

- 本県では、2030年度を目標年度として、「温室効果ガス排出量▲50%（2013年度比）」を設定し、その達成に向けた気候変動対策に取り組んでいる。
- 2020年度は、基準年度（2013年度）比で、**▲23.9%**となった。

	2020年度	2019年度	【基準年度】 2013年度
排出量 (千t-CO <sub>2</sub> )	6,756	5,834	8,875
電気の排出係数	0.574	0.411	0.706
削減率 (基準年度比)	▲23.9%	▲34.3%	-

※ 「電気の排出係数」は、使用電力量1kWh当たりのCO<sub>2</sub>排出量を算出する係数で、四国各県に電力供給する四国電力（株）が電気をつくるときの火力発電によるCO<sub>2</sub>排出量で決まり、毎年度変動する。

本県の排出量全体に占める「電気による排出量」の割合は約半分にも上ることから、この排出係数が高くなるほど、当該年度の排出量は増加し、削減率は減少する。

### 2. 排出量の増加理由

2020年度の排出量の増加理由は、伊方原子力発電所の稼働停止に伴う火力発電所の稼働増により、**電気の排出係数が上昇（0.411→0.574）**したことが影響している。

前年度と同じ排出係数（0.411）を用いた場合、

**▲34.9%（2013年度比）となり、前年度（2019年度▲34.3%）比で0.6%改善。**

## 【参考：温室効果ガス排出量及び森林吸収量の推移】

単位：千t-CO<sub>2</sub>、%

区 分	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	前年度比	2013比	
二酸化炭素	エネルギー 転換部門	204	220	205	249	253	270	233	243	4.2%	19.2%
	産業部門	2,899	2,970	2,871	2,507	2,598	2,731	2,248	2,576	14.6%	-11.1%
	民生部門	3,659	3,379	3,211	2,723	2,653	2,587	2,104	2,747	30.5%	-24.9%
	運輸部門	1,362	1,311	1,300	1,278	1,280	1,258	1,226	1,054	-14.0%	-22.6%
	工業プロセス	42	22	19	18	21	28	31	28	-9.5%	-33.2%
	廃棄物部門	120	121	119	117	117	117	142	170	19.8%	42.4%
二酸化炭素	8,286	8,023	7,725	6,894	6,922	6,991	5,985	6,818	13.9%	-17.7%	
メタン	145	144	121	137	136	136	135	141	4.0%	-2.6%	
一酸化二窒素	165	158	150	117	116	114	115	166	44.8%	1.1%	
代替フロン4ガス	280	297	308	343	361	375	362	391	8.1%	39.8%	
温室効果ガス排出量合計 (森林吸収量差し引き前)	8,875	8,623	8,304	7,491	7,536	7,615	6,597	7,517	13.9%	-15.3%	
森林吸収量	-	715	707	726	722	710	763	761	-0.2%	-	
温室効果ガス排出量合計	8,875	7,908	7,597	6,765	6,814	6,906	5,835	6,756	15.8%	-23.9%	
削減率（基準年度比）	-	▲10.9%	▲14.4%	▲23.8%	▲23.2%	▲22.2%	▲34.3%	▲23.9%	-	-	

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※森林吸収量は、「徳島県気候変動対策推進計画（緩和編）」に基づき、樹種別樹齢に応じた係数を用いて算定している。